

町田市スポーツ振興計画の現状と課題

場面・施策	サブ施策	取り組み名	現状と今後の課題
「する」スポーツ			
施策1 地域スポーツクラブの普及			
A) 地域スポーツクラブの育成	・クラブの設立運営支援		<p><現状>2011年4月に町田市地域スポーツクラブ設立及び運営事業補助金交付要綱と町田市地域スポーツクラブ支援事業実施要綱を制定し、支援体制を整えました。支援事業実施要綱に基づき、小野路グラウンドを地域スポーツクラブに優先的に貸し出しています。</p> <p><課題>補助金の交付実績が1団体にとどまっており、支援策についての周知が十分でないことや新たにクラブを設立しようとする団体の掘り起こしができていないことなどが挙げられます。</p>
		・地域の施設や既存スポーツ団体との連携	<p><現状>大学連携の中で法政大学を母体として「NPO 法人法政クラブ」が地域スポーツクラブとして設立され、また企業母体では「インターナショナルスポーツネットワーク」が設立されました。</p> <p><課題>設立された地域スポーツクラブと市との相互の情報交換、市による積極的なPR、学校との連携、団体間の連携などの促進が必要です。</p>
	B) 地域の施設を活用したプログラム開発の支援	・地域の特性に合わせた運動プログラム開発の支援	<p><現状>未実施。</p> <p><課題>各地域の特性の把握など、地域スポーツクラブの設立・運営への細やかな支援が必要です。</p>
	C) 地域での施設利用機会の拡大	・スポーツ広場のあり方の検討（「支える」にも掲載）	<p><現状>学校開放制度の見直しが先行しており、スポーツ広場のあり方の検討には至っていません。</p> <p><課題>学校開放制度の見直しの方向性にあわせて、スポーツ広場のあり方についても早急に検討が必要です。</p> <p>・設置から長い時間が経過していますが、暫定利用のため大規模な改修が行われていないことや運営委員会の組織弱体化による管理意識の低下により、施設の老朽化が進んでおり、安全対策の観点からも早急な対策が必要です。</p> <p>・利用率は高いものの、利用者が固定しており、総体的に地域住民の利用の弊害となっているため、管理運営方法の見直しが必要です。</p>
D) 地域スポーツクラブの普及に向けたクラブハウスの整備	・クラブハウスの整備（「支える」にも掲載）	・クラブ体制に向けた学校開放の制度や開放運営委員会のあり方の検討（「支える」にも掲載）	<p><現状>学校クラブハウスの設置に伴い、開放運営委員会を解散し、地域スポーツクラブ運営に携わることへのシフトを検討中です。</p> <p><課題>開放運営委員会に対して、新たな学校開放制度に関する構想を説明し理解いただくことが必要です。</p>
			<p><現状>2013年度から2016年度にかけて市内小中学校に1年度に5校ずつクラブハウスの整備を実施予定です。</p> <p><課題>2016年度以降のクラブハウス整備、及び学校施設以外へのクラブハウス整備の検討が必要です。</p>

場面・施策	サブ施策	取り組み名	現状と今後の課題
「する」スポーツ			
施策2 働き盛りの人がスポーツに取り組める環境づくり			
	A) 働き盛りの人も利用しやすい施設の運営	・働き盛りの人が利用しやすい施設の利用基準の見直し	<p><現状>未実施。</p> <p><課題>プログラムによる利用と一般利用のバランスを考え、施設の利用時間の延長を含め調整が必要です。一方で、利用時間の延長等には、近隣の方々の理解が課題となります。</p>
	B) 働き盛りの人が気軽に取り組める運動プログラムの提供	・健康維持と一体化した運動プログラムの提供	<p><現状>中高齢者向けや勤労者向けのスポーツ教室を総合体育館やサン町田旭体育館で開催しています。</p> <p><課題>夕方以降の時間帯の教室が少なく、仕事が終わってからスポーツをしたい人への対応が不十分です。テニスコートでのプログラム実施を含め、様々な種目でのプログラム検討が必要です。</p>
施策3 子どもたちのためのスポーツ環境の整備			
	A) 学校と地域の連携	・地域と部活動の連携	<p><現状>学校部活動へのアプローチは実施できていません。</p> <p><課題>各校の部活動の現状把握と、部活動と地域スポーツクラブの接点を増やすための仕組みづくりが必要です。</p>
		・部活動外部指導員制度などの拡充(「支える」にも掲載)	<p><現状>学校部活動へのアプローチは実施できていません。</p> <p><課題>各校の部活動の現状把握と、部活動と地域スポーツクラブの接点を増やすための仕組みづくりが必要です。</p>
		・複数校合同の部活動の仕組みづくり	<p><現状>未実施。</p> <p><課題>実施主体となる教育委員会と計画の推進主体であるスポーツ振興課との連携が不足しています。</p>
	B) 子どもたちのスポーツのきっかけづくり	・子どもの居場所づくりとの連携	<p><現状>未実施。</p> <p><課題>スポーツ推進委員や地域の住民(成人・学生等)など子どもたちのスポーツ指導を担う人材の確保が必要です。国体に参加いただいたボランティアが継続して活躍できる仕組みづくりが課題となります。</p>
		・安全に運動できる場の提供	<p><現状>校庭の芝生化が各学校で進展しています。</p> <p><課題>公園など校庭以外でも安全に運動できる場としての整備を進める必要があります。</p>

場面・施策	サブ施策	取り組み名	現状と今後の課題
「する」スポーツ			
施策4 高齢者や障がい者のスポーツへの参加機会の拡大			
A) 高齢者や障がい者がスポーツを楽しめる環境づくり		・ニュースポーツの振興	<p><現状> 総合体育館では、初心者を対象にミニテニス・ネオテニス・ソフトバレーボール等のニュースポーツ教室を定期的で開催したり、開放の枠を設けたりして、振興に取り組んでいます。また、暫定利用ですが下小山田町にマレットゴルフ場を整備し、町田市マレットゴルフ協会を中心として、活発な活動が行われています。</p> <p><課題> マレットゴルフについては、暫定でない活動場所が求められています。多様化したスポーツに対するソフト面の課題は、現在開放等の設定されている種目を引き続き推進していくのか、または新たな種目を開発・導入するのか、施設の利用状況などを踏まえ検討を進めることが必要です。ハード面の課題として、既存施設の利用を拡大する必要があるが、立地条件や運営方法、騒音などの課題があります。</p>
		・高齢者・障がい者のスポーツ教室・プログラムサービスの提供	<p><現状> 中高齢者向けや障がい者向けのスポーツ教室を総合体育館やサン町田旭体育館、陸上競技場等で開催しています。</p> <p><課題> スポーツ振興課やスポーツ施設によるサービス提供だけでなく、高齢者福祉課や障がい福祉課も事業主体となっていますが、それらについてはまだ十分にスポーツ振興計画と結び付けられているとは言えません。</p>
		・障害者スポーツ指導員など指導者の育成（「支える」にも掲載）	<p><現状> 未実施。</p> <p><課題> 上記プログラムサービスを提供する所管課や施設の職員に、資格取得を促す取り組みを進める検討が必要です。</p>
		・公共スポーツ施設のユニバーサルデザイン化（「支える」にも掲載）	<p><現状> 施設改修の際には、町田市福祉のまちづくり条例に則り、ユニバーサルデザインを実施しています。</p> <p><課題> ユニバーサルデザイン化は、施設改修にあわせて実施することから、順次進めていく必要があります。</p>
		・スポーツノーマライゼーションの推進	<p><現状> 未実施。</p> <p><課題> 考え方の周知が必要であることと、イベント等の実践の場が必要です。</p>
	B) 障がい者の競技スポーツの推進	・障がい者の競技スポーツ大会への場の提供	<p><現状> 関東身体障害者陸上競技協会と協定を結び、関東身体障害者陸上競技選手権大会実施のため、会場として陸上競技場を優先利用により提供しています。</p> <p><課題> 上記協定の中では、会場提供にとどまらず、大会を中心とした体系的な事業実施を進める検討が必要です。</p>

場面・施策	サブ施策	取り組み名	現状と今後の課題
「みる」スポーツ			
施策1 国民体育大会を始めとしたスポーツイベントの開催			
	A) 東京国体の開催	・東京国体開催に向けた施設の整備	<p><現状> 今年開催される「スポーツ祭東京2013」(東京国体)に向けて会場となる小野路球場、陸上競技場、総合体育館の改修整備を実施しました。(小野路球場は6月まで改修中)</p> <p><課題> 国体開催後の施設活用について検討が必要です。</p>
		・実行委員会の設立及び運営	<p><現状> 「スポーツ祭東京2013」(東京国体)を担当する部署として国体推進課を設置し、実行委員会を立ち上げて、国体開催に向けて日々活動しています。</p> <p><課題> 国体開催後に、活動の成果や効果の検証が必要です。</p>
	B) 広域スポーツのブランド化	・市民が参加する多様なイベントの開催	<p><現状> 体育協会と傘下の各競技団体が中心となり、種目別の競技会が開催されています。</p> <p><課題> 市は協会に大会等実施のための補助金を支出するにとどまり、大会の実態や課題を十分に捉えているとは言えません。体協及び傘下の団体との情報共有の機会が必要です。</p>
		・広域スポーツの担い手の育成	<p><現状> 国体推進課が中心となり、スポーツ祭東京 2013 の開催に向け、ボランティアの組織化および育成を行っています。</p> <p><課題> スポーツ祭東京 2013 終了後も市内のスポーツ大会やホームタウンチームのホームゲーム時などにボランティアスタッフが活躍できる仕組みづくりの検討が必要です。</p>
		・ブランド化への取り組み	<p><現状> 未実施。</p> <p><課題> 全国からの参加がある武相マラソンについては、後援や会場の提供、補助金の支出だけでなく、主催者と連携し、参加者数を拡大するため、スポンサーとのタイアップによるイベント開催、ハーフマラソンの公認化などを進める検討が必要です。</p>

場面・施策	サブ施策	取り組み名	現状と今後の課題
「みる」スポーツ			
施策2 トップアスリートとの交流			
	A) トップアスリートと交流できる環境づくり	・プロスポーツチームとの交流機会の拡大	<p><現状>ホームタウンチームが小学校や学童を訪問したり、地域のお祭りへ参加したりすることなどによって、市民との交流を図っています。</p> <p><課題>より拡大を図るためには、教育委員会と連携し、年間カリキュラムとして授業に取り入れてもらうなど、安定的な活動となるような支援の実施を進める検討が必要です。</p>
		・スポーツフォーラムの開催	<p><現状>アスリート関係者を講師やパネリストとして「スポーツフォーラム」を2009年度から毎年開催しています。</p> <p><課題>「スポーツフォーラム」の開催に留まっており、今後は市民主体で新たなスポーツ施策を生み出していく必要があります。</p>
	B) スポーツイベントの集客増に向けた連携強化	・スポーツ観戦の拡大	<p><現状>ホームタウンチームのホームゲームへの集客のため、自治会などの各組織に招待チケットを配布する活動や選手自らホームゲームへの来場を呼びかける活動の支援を行っています。また、陸上競技場や小野路球場などの改修により快適な観戦環境を整えることで、集客の増加を図っています。</p> <p><課題>ホームタウンチームのホームゲームの集客のためのPR手段として、SNSを活用するなど広報活動の強化のほか、チームと連携して社会貢献活動の実施や、イベントへの参加など、市民にとってより身近に感じられる取り組みを進める検討が必要です。</p>
		・スポーツ・ツーリズムの振興	<p><現状>町田市観光コンベンション協会の主催で、FC町田ゼルビアのホームゲーム時に町田駅から陸上競技場までのバスツアーが実施されました。</p> <p><課題>町田市観光コンベンション協会を中心としたさらなるスポーツを軸とする観光振興策の検討が必要です。</p>
施策3 ホームタウン・チーム等の応援			
	A) ホームタウン・チームの支援	・ホームタウン・チーム支援組織の活性化	<p><現状>ホームタウン・チームや国際大会等で活躍するトップアスリートを後方支援する組織として、市民が主体となった「Sports まちだホームタウン協議会」を設立しました。</p> <p><課題>「スポーツアワードまちだ」以外の場におけるホームタウン・チームやアスリート情報の発信力を強化が必要です。</p>
		・アスリートが安心して活躍できる仕組みの検討	<p><現状>未実施。</p> <p><課題>アスリートのセカンドキャリアや生活支援のあり方の検討が必要です。</p>

場面・施策	サブ施策	取り組み名	現状と今後の課題
スポーツを「支える」			
施策1 指導者、ボランティアの養成、スポーツ団体のサポート			
	A) クラブマネジメントの確立	・コーディネーターの育成	<p><現状>未実施。</p> <p><課題>先進的な活動をしている他市を研究し、指導者育成の研修開催を検討していく必要があります。また、東京都などが主催している研修会への積極的な参加の呼びかけが必要です。</p>
	B) スポーツ指導者やスタッフの育成・充実	・スポーツスタッフの参加・協力体制の確立	<p><現状>町田市こどもマラソン大会などでは、スポーツ推進委員や看護師、法政大学の学生が連携して運営に携わる実行委員会が組織され、運営・開催されています。</p> <p><課題>スポーツ推進委員の存在意義や役割の明確化が必要です。</p>
		・部活動外部指導員制度などの拡充（「する」にも掲載）	<p><現状>学校部活動へのアプローチは実施できていません。</p> <p><課題>各校の部活動の現状把握と、部活動と地域スポーツクラブの接点を増やすための仕組みづくりが必要です。</p>
		・障害者スポーツ指導員など指導者の育成（「する」にも掲載）	<p><現状>未実施。</p> <p><課題>上記プログラムサービスを提供する所管課や施設の職員に、資格取得を促す取り組みを進める検討が必要です。</p>
C) ライフステージ別スポーツプログラムの開発・普及	・ライフスタイルに応じたプログラムの提供	<p><現状>地域スポーツクラブである法政クラブが各種スポーツ教室を実施することで、地域住民に対して専門的な指導の提供を行っています。</p> <p><課題>法政大学の近隣住民以外にも専門的な指導を享受できるよう、市内の他大学等に働きかけを行う必要があります。</p>	
施策2 スポーツ施設の充実			
	A) 既存スポーツ施設の有効活用	・長寿命化の検討	<p><現状>総合体育館や室内プールなどを対象に長寿命化のための診断を実施しました。</p> <p><課題>限られた予算の中で、長寿命化の診断結果をどのように反映できるか、総合的かつ計画的な取り組みが必要です。</p>
		・施設の特性による棲み分け	<p><現状>総合体育館と陸上競技場については、大規模な大会等が行える施設であり、実際に開催されています。</p> <p><課題>大会等での利用と一般利用の棲み分けが明確になっていないため、利用基準を改めるとともに、利用者の理解を得ていく必要があります。</p>
		・施設の魅力向上	<p><現状>事業者提案等により、売店でのグッズ等の販売、自動販売機の増設など、利用者に気持ちよく利用していただけるよう利用者ニーズに応じて、管理運営の中で実施しています。</p> <p><課題>利用者ニーズを取り入れる具体的な仕組みの検討が必要です。</p>
		・東京国体後の施設利用の検討	<p><現状>小野路球場については、全国高等学校野球選手権西東京大会の試合を誘致しました。</p> <p><課題>総合体育館、陸上競技場についての検討が必要です。今後「棲み分け」の明確化と利用者等の理解もあわせて課題となっています。</p>

場面・施策	サブ施策	取り組み名	現状と今後の課題
スポーツを「支える」			
施策2 スポーツ施設の充実			
B) 市内施設の有効活用		・公園施設の利用の拡大	<p><現状>未実施。</p> <p><課題>公園のスポーツ利用の拡大について、公園担当部署と連携し、ルールや設備等の整備を進める必要があります。当面は第二次野津田公園整備基本計画に盛り込むべきスポーツ施設の検討が早期に必要です。</p>
		・大学や企業との連携による場の提供	<p><現状>2009年から、法政大学との連携として「法政クラブ」が設立され、スポーツ指導・実践の場を提供しています。また、東京家政学院大学との連携によるテニスコートの地域開放は現在19団体が利用しています。</p> <p><課題>他の大学や民間スポーツクラブとの協働による更なるスポーツの場の提供が必要です。</p>
		・身近な場所でのスポーツ利用の拡大	<p><現状>未実施。</p> <p><課題>安全・快適にランニングやサイクリングが実施できるための道路・街路の整備とスポーツ利用者のマナー及び歩行者の理解の両方が必要です。</p>
		・クラブ体制に向けた学校開放の制度や開放運営委員会のあり方の検討(「する」にも掲載)	<p><現状>学校クラブハウスの設置に伴い、開放運営委員会を解散し、地域スポーツクラブ運営に携わることへのシフトを検討中です。</p> <p><課題>開放運営委員会に対して、新たな学校開放制度に関する構想を説明し理解いただくことが必要です。</p>
		・スポーツ広場のあり方の検討(「する」にも掲載)	<p><現状>学校開放制度の見直しが先行しており、スポーツ広場のあり方の検討には至っていません。</p> <p><課題>学校開放制度の見直しの方針にあわせて、スポーツ広場のあり方についても早急に検討が必要です。</p> <p>・設置から長い時間が経過していますが、暫定利用のため大規模な改修が行われていないことや運営委員会の組織弱体化による管理意識の低下により、施設の老朽化が進んでおり、安全対策の観点からも早急な対策が必要です。</p> <p>・利用率は高いものの、利用者が固定しており、総体的に地域住民の利用の弊害となっているため、管理運営方法の見直しが必要です。</p>
C) 地域スポーツクラブの普及に向けたクラブハウスの整備		・クラブハウスの整備(「する」にも掲載)	<p><現状>2013年度から2016年度にかけて市内小中学校に1年度に5校ずつクラブハウスの整備を実施予定です。</p> <p><課題>2016年度以降のクラブハウス整備、及び学校施設以外へのクラブハウス整備の検討が必要です。</p>

場面・施策	サブ施策	取り組み名	現状と今後の課題
スポーツを「支える」			
施策2 スポーツ施設の充実			
	D)施設の規格・再配置の検討	・サッカー・フットサル・ミニバスケットボール等規格への対応	<p><現状>陸上競技場をサッカーのJリーグ基準に改修しました。総合体育館についても、メインアリーナ床改修に際してフットサルの公式試合に対応できるようにしました。</p> <p><課題>対応すべき競技種目の検討が必要です。</p>
		・施設の再配置計画の検討	<p><現状>未実施。</p> <p><課題>第二次野津田公園整備基本計画に盛り込むべきスポーツ施設の検討が早期に必要です。</p>
		・公共スポーツ施設のユニバーサルデザイン化(「する」にも掲載)	<p><現状>施設改修の際には、町田市福祉のまちづくり条例に則り、ユニバーサルデザインを実施しています。</p> <p><課題>ユニバーサルデザイン化は、施設改修にあわせて実施することから、順次進めていく必要があります。</p>
	E)アクセスの整備	・スポーツ施設へのアクセスの向上	<p><現状>未実施。</p> <p><課題>バス交通の増便は困難です。</p>
		・イベント開催時のアクセスの向上	<p><現状>大規模イベント時に運行する鶴川駅から野津田公園への直行路線バスの導入を実施しました。</p> <p><課題>大規模イベント時に観戦者用の駐車場がなく、小さな子どもがいる家庭や高齢者など、自家用車に頼らざるを得ない市民に対する配慮を検討する必要があります。</p>
施策3 スポーツ情報の総合提供			
	A)スポーツ情報システムの整備・一元化	・スポーツ情報システムの整備	<p><現状>「Sports まちだホームタウン協議会」が運営する町田市スポーツ活動支援ポータルサイト「スポまち」を構築しました。</p> <p><課題>サイトの管理者は専任ではなく、情報のタイムラグや捕捉性に課題があり、常時新鮮な情報を幅広く発信できる仕組みの検討が必要です。</p>
		・利用者の意見を取り入れる仕組みの見直し	<p><現状>スポーツ施設の指定管理者による利用者アンケートを実施しています。</p> <p><課題>指定管理者が実施する事業内容の見直しにとどまっており、市のスポーツ事業全般に取り入れる仕組みにする必要があります。</p>
	B)スポーツコミュニティの広報・啓発	・スポーツコミュニティの情報発信	<p><現状>広報まちだ、市HP「スポまち」を通じてスポーツ情報を発信しています。</p> <p><課題>「スポーツコミュニティ」に関する情報発信の仕組みの構築とより多様なメディアの活用を検討が必要です。</p>

場面・施策	プロジェクト	取り組み名	現状と今後の課題
スポーツを「支える」			
施策4 顕彰制度・奨励制度の充実			
	A) 顕彰事業の創設	・アスリートの全国的な活躍に関する情報発信の強化	<p><現状>アスリート情報を発信する市HP「スポまち」を構築しました。また、顕著な成績を収めたアスリートに対して市長表敬訪問の機会を設けています。</p> <p><課題>表敬訪問のあり方を検討したり、市HP以外での情報発信の方策が必要です。</p>
		・まちだスポーツアワードの創設	<p><現状>2010年度から毎年、市内のアスリートを顕彰し、市民との交流の場とする「スポーツアワードまちだ」を開催しています。</p> <p><課題>受賞候補者が固定化しており、新たな対象者の発掘が必要です。交流の場としてはその後の発展につながっていないことが課題となっています。</p>